

ふくしま水土里通信

国の抽出検査が行われました！

国は、多面的機能支払交付金に取り組む活動組織の中から対象組織を抽出し、会計経理や実施状況に関する検査を行うこととされており、毎年度、資源向上（長寿命化）と農地維持及び資源向上（共同）の2回に分けて検査が実施されます。交付金の活動を行っているすべての活動組織の中から検査対象が抽出されることとなっており、どの活動組織も対象となる可能性があります。

令和4年度は、9月15、16日に、資源向上活動（長寿命化）に取り組む白河市、浅川町の4つの活動組織を対象に抽出検査が行われました。当日は、国の検査員が活動計画書、活動記録、金銭出納簿、領収書などの確認や研修の実施状況について組織の代表等への聞き取りを行い、活動や支出が適切に行われているか確認しました。また、現地において、交付金で設置した水路の規格や延長が見積をとった内容と一致しているかを確認しました。いずれの組織も活動や会計経理が適正に実施されていることが確認されました。



書類検査の様子（白河市）



現地検査の様子（浅川町）

近年の抽出検査では、交付金に関する組織内のトラブルを未然に防止する観点から、活動の計画や交付金の使い道について、総会等で合意をとっているか、その記録は保管されているか等を重点的に確認しています。各活動組織においては、総会等を開催するとともに、総会の資料や議事録などの記録を残しておくようお願いします。

田んぼダムの技術マニュアルを発行

近年、大雨による災害が増えるなか、水田に雨水を一時的に貯留し、時間をかけて排水することで、下流の湛水被害リスクを低減する「田んぼダム」の取組が注目されています。活動組織等が田んぼダムの取組を検討したり、実践したりする際に活用していただくため、取組の目的や仕組み、効果、方法、資材選定・設置、支援制度などをまとめた「田んぼダム技術マニュアル」と、田んぼダムの取組を実施した場合に想定される浸水面積や浸水量の軽減効果をまとめた「田んぼダム洪水被害軽減モデル」を作成しました。

これらの資料は、福島県農村振興課のホームページに掲載しています。

福島県 田んぼダム

検索



田んぼダム技術マニュアル



令和4年10月
福島県農林水産部農村振興課
福島県多面的機能支払推進協議会

「桑折町多面的機能支払交付金広域協定」 が最優秀賞（福島県知事賞）に決定！

多面的機能支払交付金を活用して、他地域の参考となる優れた活動を行う組織を表彰する優良活動表彰の受賞組織が決定しました。

桑折町多面的機能支払交付金広域協定

桑折町内の10の活動組織が協定を締結して広域活動組織（事務局伊達西根堰土地改良区）を設立した。広域化により事務の効率化や組織間の連携を図りながら、施設補修や鳥獣防護柵の管理、田んぼダムの実証試験などの活動を行っている。

【地区概要】

取組面積 297 ha
(田 209 ha, 畑 88 ha)
主な構成員 農業者 781名 非農業者 40名
参加団体 17団体
取組内容 農地維持、資源向上（共同）



優秀賞 (福島民報社賞)

五十軒・砂川ふる里づくり会

構成員の9割が非農業者であることを踏まえ、景観形成や水質モニタリングなど環境保全活動を通して子どもたちをはじめ、地域住民の農業や環境への理解促進に取り組んでいる。

優秀賞 (福島民友新聞社賞)

一般社団法人ほりこし創生会

全世帯が参加する組織を設立し、農業生産法人を始め、JA、行政と連携して地域の農地と農村環境を守る活動を行っている。

福島県農村地域振興セミナー2022 ～つなげてまもる！ふくしまの農村～

11月9日（水）、農村地域の方々が、地域内外の人材や資源を活用し、農村地域の維持、活性化を図る「農村関係人口の活用」をテーマにセミナーを開催しました。当日は「桑折町多面的機能支払交付金広域協定」の、事務局を務める石川様より、活動事例を紹介いただくほか、パネルディスカッションにも参加いただきました。



多面的機能支払に関するお問い合わせ 《ご質問等お気軽にお問い合わせください》

◇各市町村 多面的機能支払事業担当

◇福島県多面的機能支払推進協議会（福島県土地改良事業団体連合会内）024-535-0419

◇農林事務所 農村整備部

【県北】024-521-2617

【県中】024-935-1333

【県南】0248-23-1588

【会津】0242-29-5333

【南会津】0241-62-5273

【相双】0244-26-1161

【いわき】0246-24-6111

◇福島県農林水産部 農村振興課 024-521-7416

ホームページは

[福島県農村振興課](#)

[検索](#)



タニッシー